

Minebea

決算説明会

2011年3月期第3四半期

2011年2月2日
ミネベア株式会社

3Q累計連結業績ハイライト

円高などの為替影響はあったものの、販売の回復や費用削減により増収増益

(百万円)	2010年3月期 1Q-3Q累計	2011年3月期 1Q-3Q累計	前年同期比 伸び率
売上高	167,984	205,195	+22.2%
営業利益	6,564	17,969	2.7倍
経常利益	5,017	16,653	3.3倍
税引前利益	4,537	15,845	3.5倍
純利益	3,571	10,649	3.0倍
一株当たり 純利益(円)	9.19	27.86	3.0倍

為替レート	10/3期 1Q-3Q	11/3期 1Q-3Q
US\$	93.91円	87.46円
ユーロ	132.77円	114.11円
タイバーツ	2.75円	2.77円
人民元	13.74円	12.91円

2011年2月2日

1

Minebea

2011年3月期第3四半期累計連結業績は、売上高が前年同期比22.2%増の2,051億9,500万円、営業利益は2.7倍の179億6,900万円、純利益は3倍の106億4,900万円となりました。

円高などの為替変動によるマイナス影響はあったものの、市場環境改善による販売の回復や費用削減努力により、前年同期と比べ大幅な利益の増加となりました。

3Q連結業績ハイライト

前四半期に比べ、円高などの為替影響と 一部分野での需要の伸びの一服により減収減益

(百万円)	2010年3月期	2011年3月期		前年同期比 伸び率	前四半期比 伸び率
	3Q	2Q	3Q		
売上高	58,716	69,803	67,500	+15.0%	-3.3%
営業利益	4,449	6,346	5,597	+25.8%	-11.8%
経常利益	3,988	5,935	5,117	+28.3%	-13.8%
税引前利益	3,808	5,511	4,741	+24.5%	-14.0%
四半期純利益	3,936	3,502	3,331	-15.4%	-4.9%
一株当たり 四半期純利益(円)	10.16	9.16	8.71	-14.3%	-4.9%

為替レート	10/3期3Q	11/3期2Q	11/3期3Q
US\$	89.49円	86.58円	82.99円
ユーロ	132.51円	109.31円	112.50円
タイバーツ	2.68円	2.70円	2.75円
人民元	13.08円	12.73円	12.40円

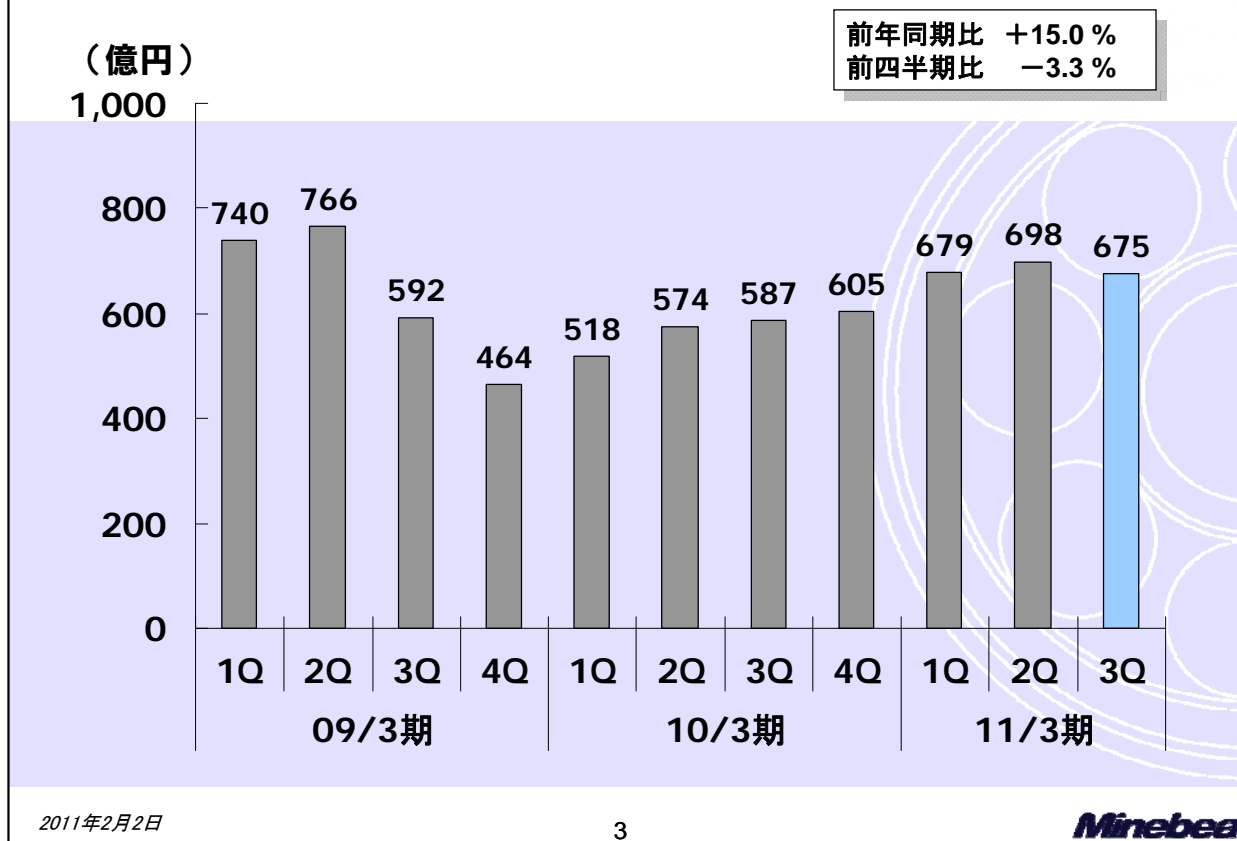
2011年2月2日

2

Minebea

一方、2011年3月期第3四半期の連結業績は、売上高が第2四半期と比べ3.3%減の675億円、営業利益は11.8%減の55億9,700万円、四半期純利益は4.9%減の33億3,100万円となりました。

ボールベアリングの販売は堅調に推移し、ピボットアセンブリーの販売がやや回復、LEDバックライトの販売拡大、さらには費用削減も進展したものの、円高などの為替変動の影響が大きく、また需要の伸びも一服し、回転機器や計測機器の販売減少も影響しました。



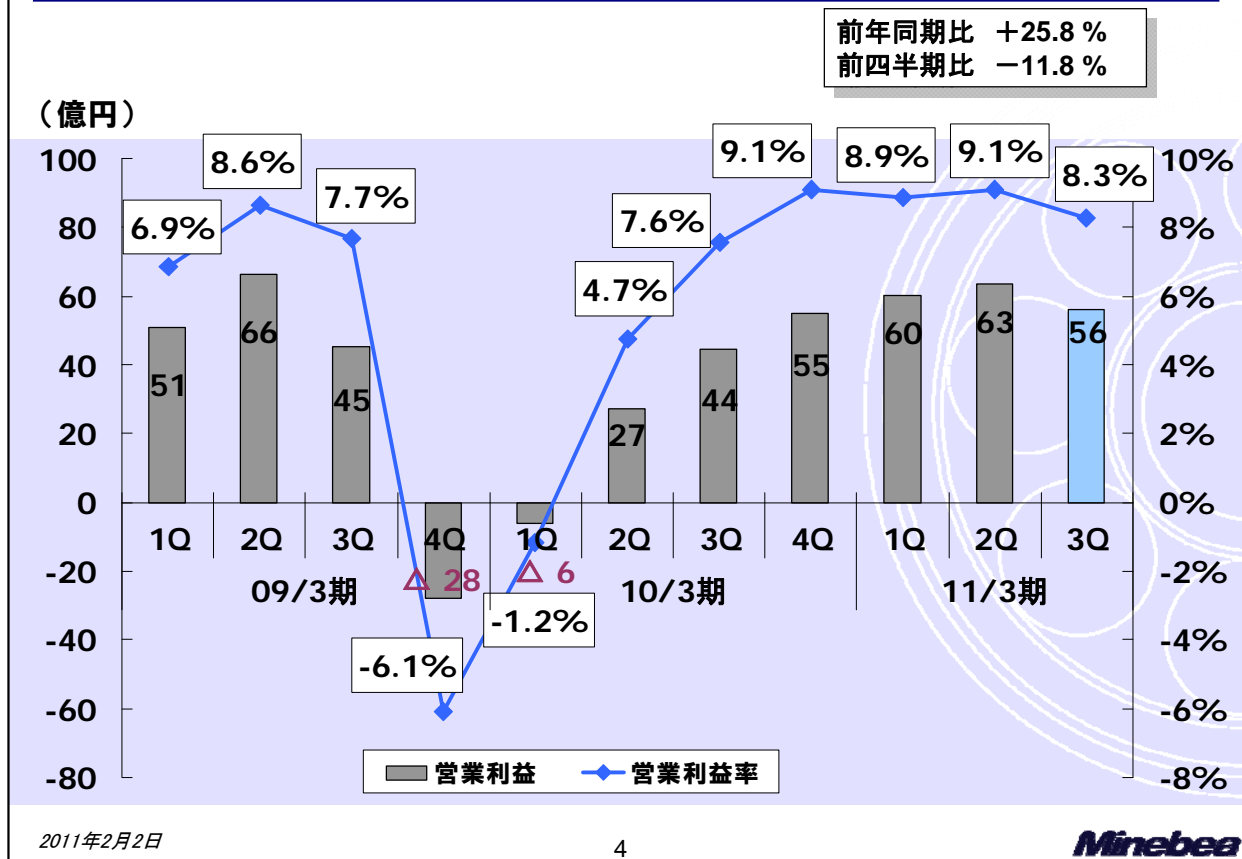
これは、売上高の四半期ごとの推移です。

第3四半期の売上高は、前年同期比で15%増の675億円となりました。販売の回復・拡大が大きく、為替影響を乗り越えた成長をすることができましたが、第2四半期比ではUS\$安の影響に加えて、一部分野の需要の伸びが一服したことにより、3.3%の減少となりました。

為替の影響は、前年同期比で約38億円のマイナス影響、前四半期比では約14億円のマイナス影響となりました。

営業利益

四半期推移



第3四半期の営業利益は、前年同期比では販売の回復・拡大に加え、費用削減が進展し、25.8%増の56億円となりました。第2四半期比ではUS\$に対する円高、タイパーツ高が大きく影響したことに加え、回転機器、計測機器の販売減少なども影響し、11.8%の減少となりました。

営業利益率は為替の影響により、前四半期比では0.8ポイントの低下となりました。

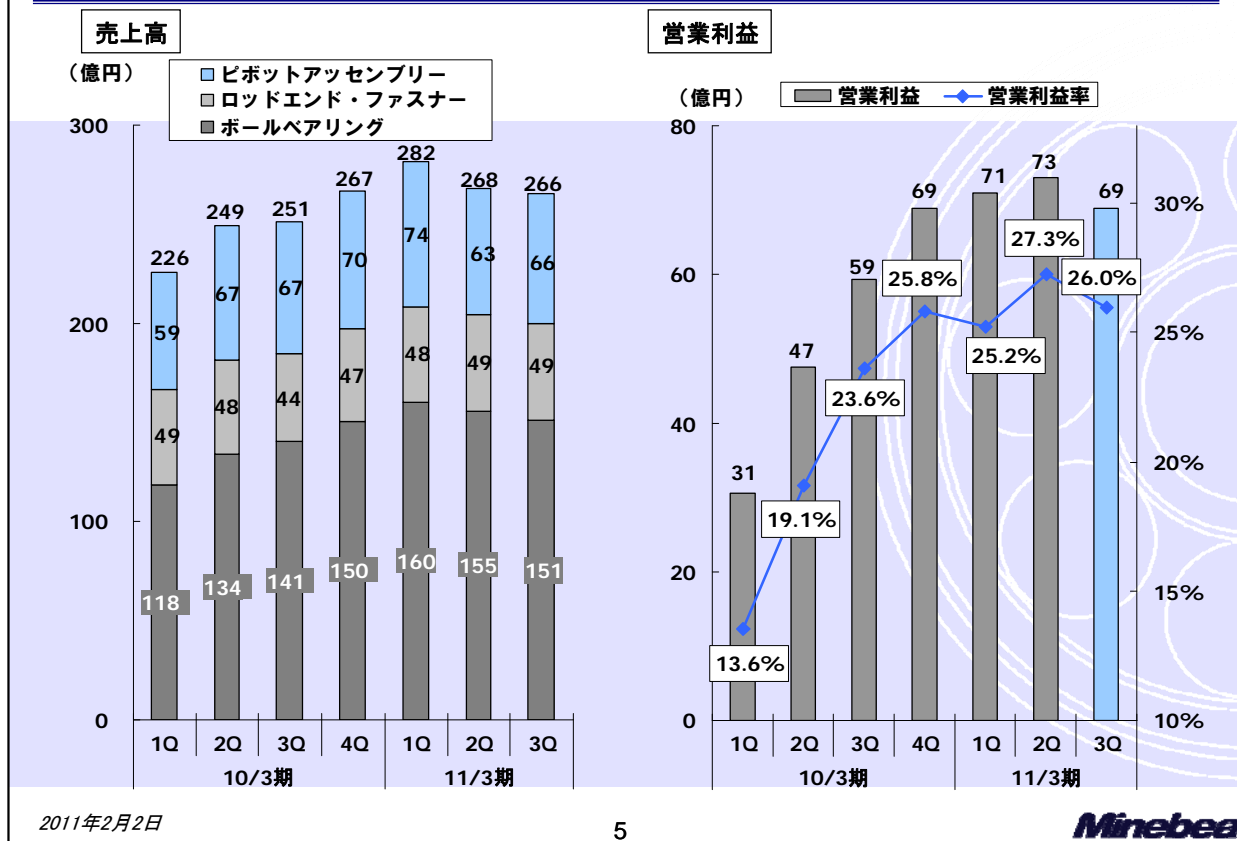
営業利益への為替影響は、前年同期比で約16億円のマイナス影響、前四半期比で約5億円のマイナス影響がありました。

機械加工品事業

セグメント別

※新セグメントによる2010年3月期数値は、会計監査人による監査を受けたものではありません。

四半期推移



2011年2月2日

5

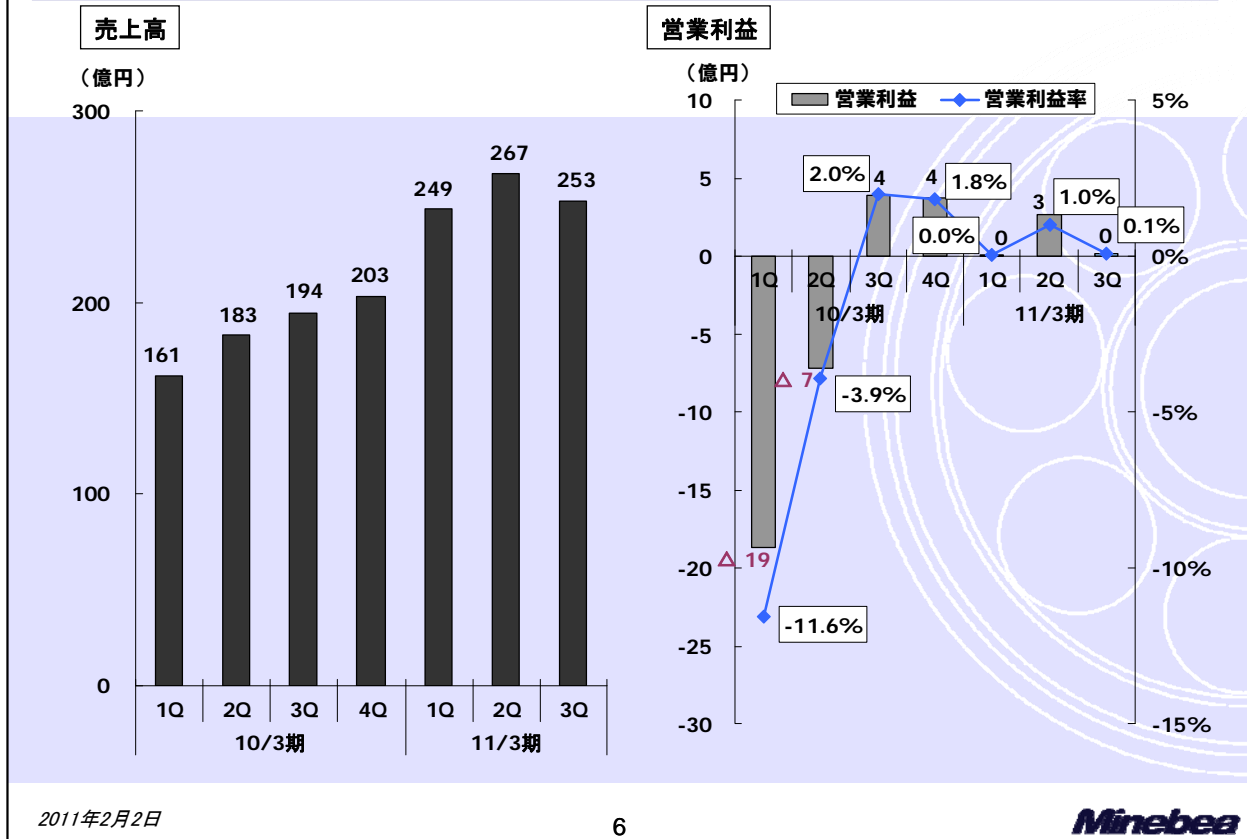
Minebea

次に、機械加工品事業セグメントの状況ですが、第3四半期の売上高は、第2四半期比0.9%減の266億円となり、営業利益は5.7%減の69億円となりました。営業利益率は1.3ポイント低下し26%となりました。

製品別では、ボールベアリングの売上高は、US\$安を中心とした為替変動の影響があり、売上は前四半期比2.6%減の151億円、利益も減少となりました。販売自体は堅調であり、新工場の立ち上げや中国低価格量産品への参入など、今後の拡大に向けた施策に注力していきます。

ロッドエンド・ファスナーの売上高は、US\$安の為替影響が大きかったものの、生産の拡大により第2四半期比横ばいの49億円となりました。利益は費用削減効果により増加しています。今後も航空機市場は中長期的に拡大していくと考えられ、緩やかながらも業績の改善が続くと思われます。

ピボットアッセンブリーの売上高は、US\$安の影響があったものの、第2四半期比で販売数量が回復したことにより、売上は4.8%増の66億円となりました。利益はUS\$安パーツ高と先行投資の固定費の増加影響により、大きく減少しました。今後も販売の拡大に注力していきます。



2011年2月2日

6

Minebea

第3四半期の回転機器事業セグメントは、第2四半期比でUS\$安を中心とした為替変動の影響があったことに加え、OA機器向け、ゲーム機向けを始めとして全体での販売数量の減少に加え、振動モーターの業績悪化があり、売上高は5.4%減の253億円、営業利益は94%減の1,600万円となりました。営業利益率も0.9ポイント低下し0.1%となりました。

今後は、カンボジア工場の立ち上げなど、モーター工場の戦略的再編と業績向上に注力していきます。尚、HDDスピンドルモーターは、歩留まりや生産効率の改善が進み、昨年12月で単月黒字化を達成しました。今後とも、体質改善を更に押し進め、四半期、通期での黒字化を目指していきます。

電子機器事業

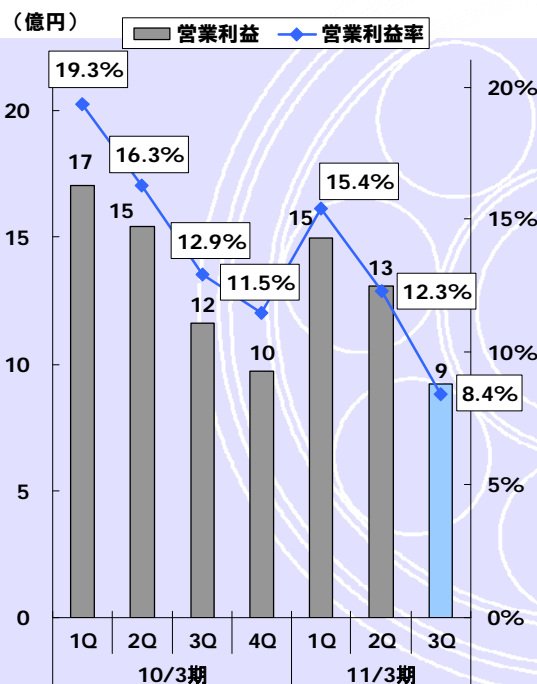
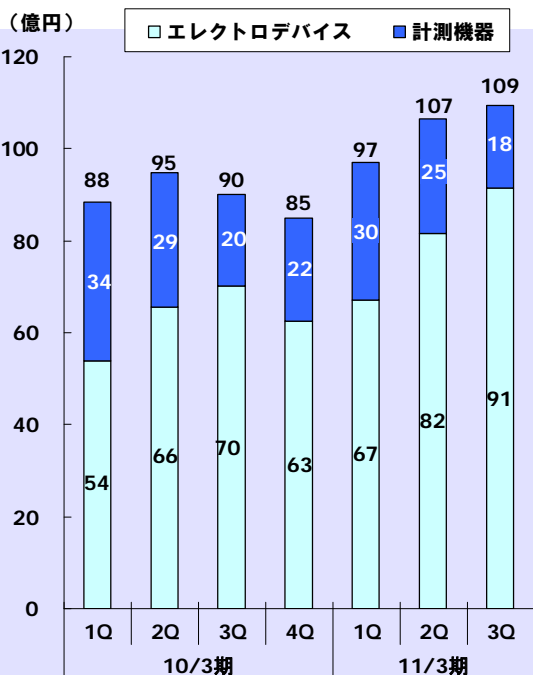
セグメント別

※新セグメントによる2010年3月期数値は、会計監査人による監査を受けたものではありません。

四半期推移

売上高

営業利益



2011年2月2日

7

Minebea

第3四半期の電子機器事業セグメントは、第2四半期比でUS\$安を中心とした為替変動の影響があったものの、LEDバックライトの売上が増加し、売上高は2.6%増の109億円となりました。一方、営業利益は計測機器の売上が減少したことが影響し、29.6%減の9億円となりました。営業利益率も3.9ポイント低下の8.4%となりました。

製品別では、エレクトロデバイスの売上高は、第2四半期比でスマートフォン向けを中心としたLEDバックライトの販売が増加し、11%増の91億円となり、利益も増加しました。

計測機器の売上高は、第2四半期比でゲーム機向けの販売が減少したことにより28%減の18億円となり、利益も大きく減少しました。

その他事業

セグメント別

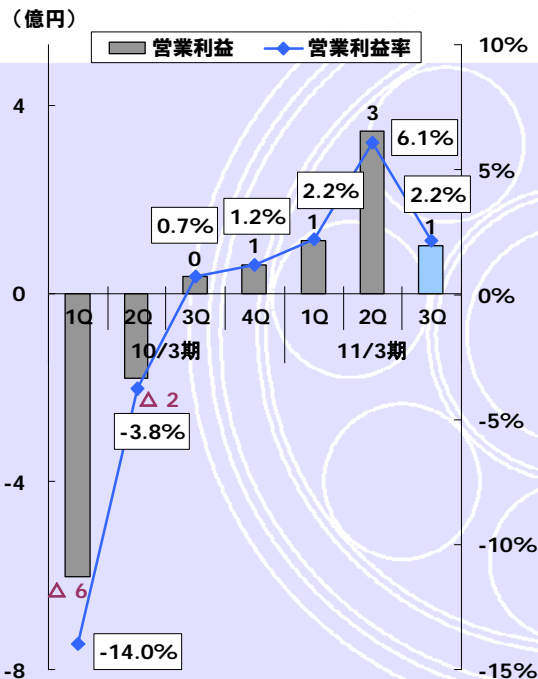
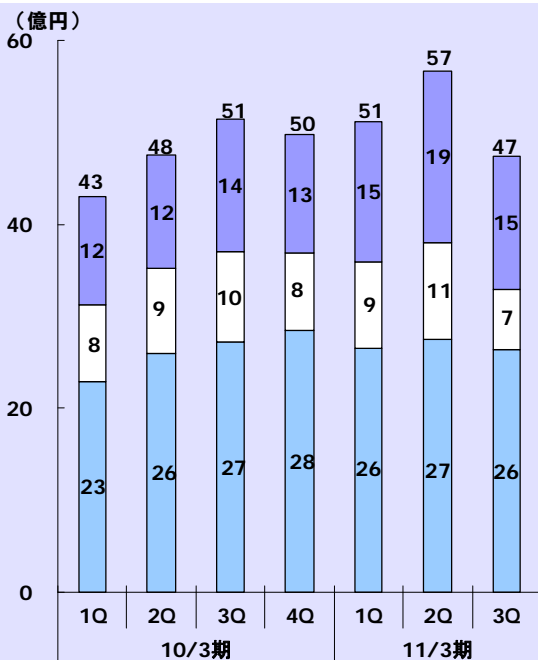
※新セグメントによる2010年3月期数値は、会計監査人による監査を受けたものではありません。

四半期推移

売上高

営業利益

■ キーボード □ スピーカー ■ 特機その他



2011年2月2日

8

Minebea

第3四半期のその他事業セグメントは、第2四半期比で売上が16.2%減の47億円、利益も70.4%減の1億円となりました。営業利益率も3.9ポイント低下の2.2%となりました。

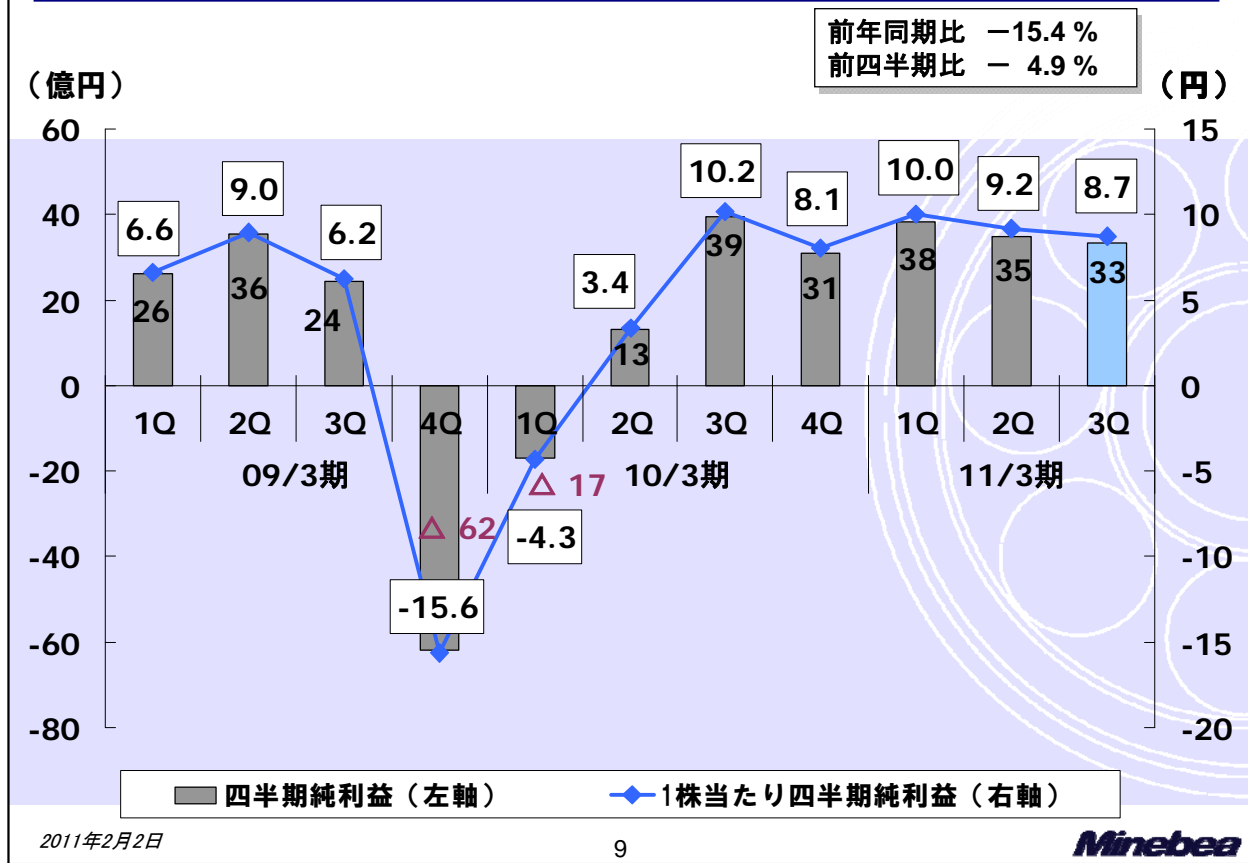
製品別では、キーボードの売上高は、第2四半期比3.7%減の26億円となりましたが、利益は増加しました。

スピーカーの売上高は、第2四半期比36.4%減の7億円となり、損失が増加しました。

特機その他の売上高は、第2四半期比21.1%減の15億円となり、利益も減少しました。

純利益

四半期推移

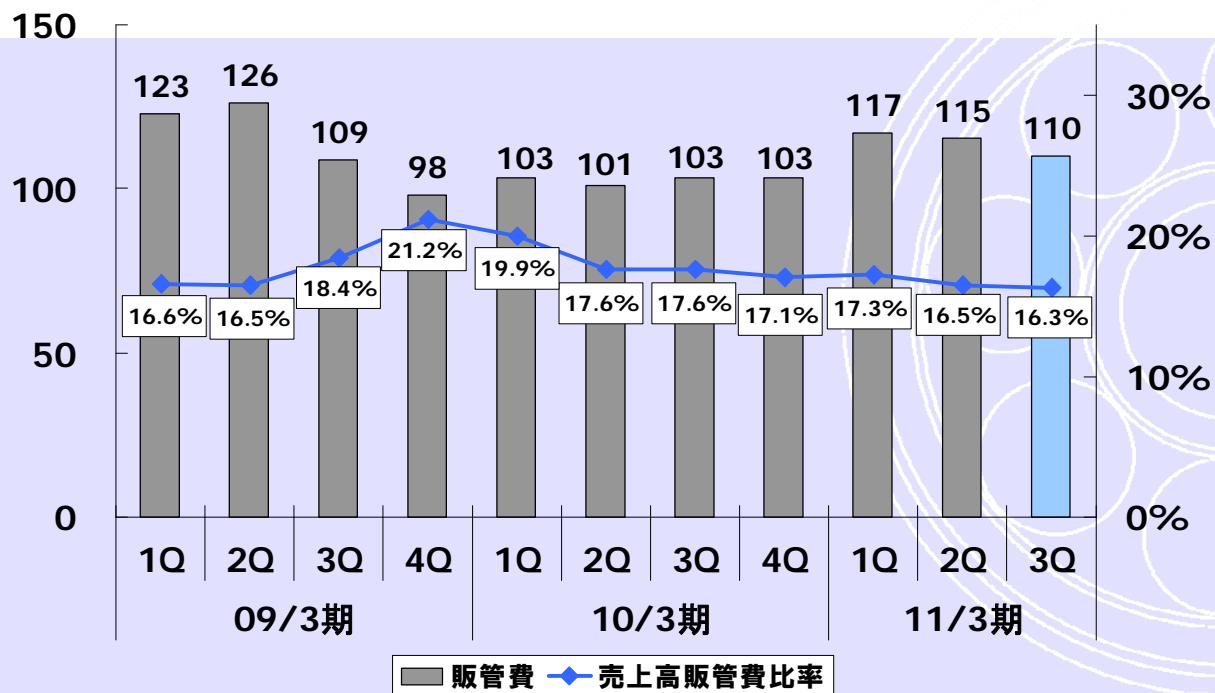


第3四半期の純利益は、前年同期比15.4%減の33億円となりました。

これは、前期の第3四半期の純利益に、米国における法人税還付約17億円が含まれていたことが大きく影響しています。また、第2四半期比では、営業利益の減少に伴い4.9%の減少となりました。

一株当たり純利益は、8.7円となりました。

(億円)



2011年2月2日

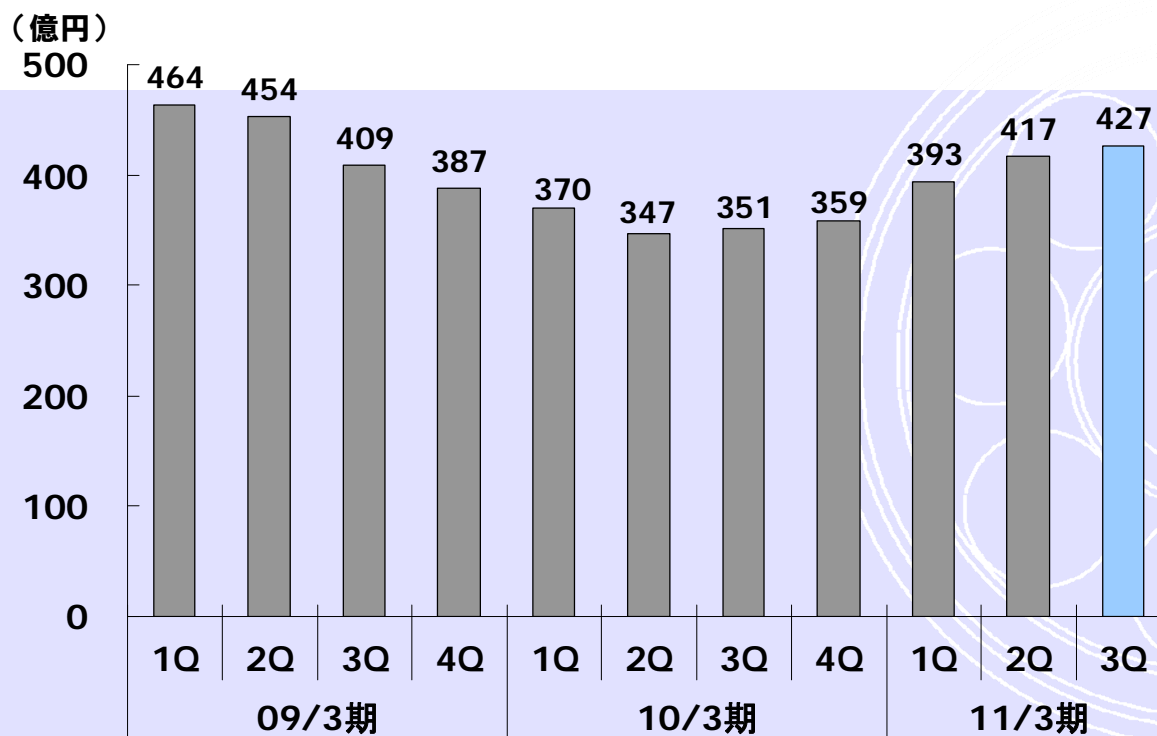
10

Minebea

第3四半期の販管費は、第2四半期比5億円減少の110億円となりました。

売上高販管比率は、第2四半期比0.2ポイント改善の16.3%となり、前年同期比では1.3ポイントの改善となりました。これは全社を上げて取り組んでいる費用削減活動の効果によるものです。

今後とも、販管費の抑制に努めていきます。

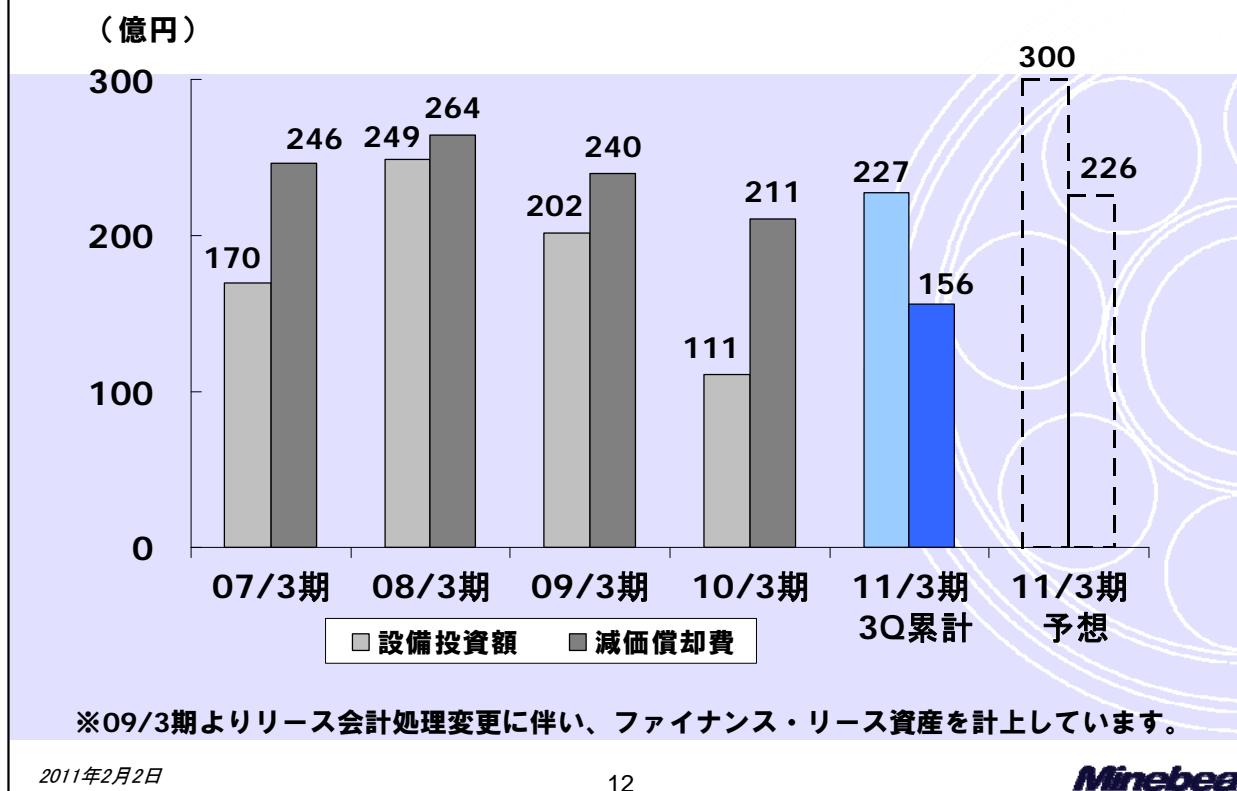


2011年2月2日

11

Minebea

第3四半期末のたな卸資産は、第2四半期末と比べ10億円増加しました。これは、ボールベアリング、ピボットアセンブリーの需要増加に備えた在庫積み増しと、LEDバックライトの販売増に伴う仕掛品などの増加が主な要因です。



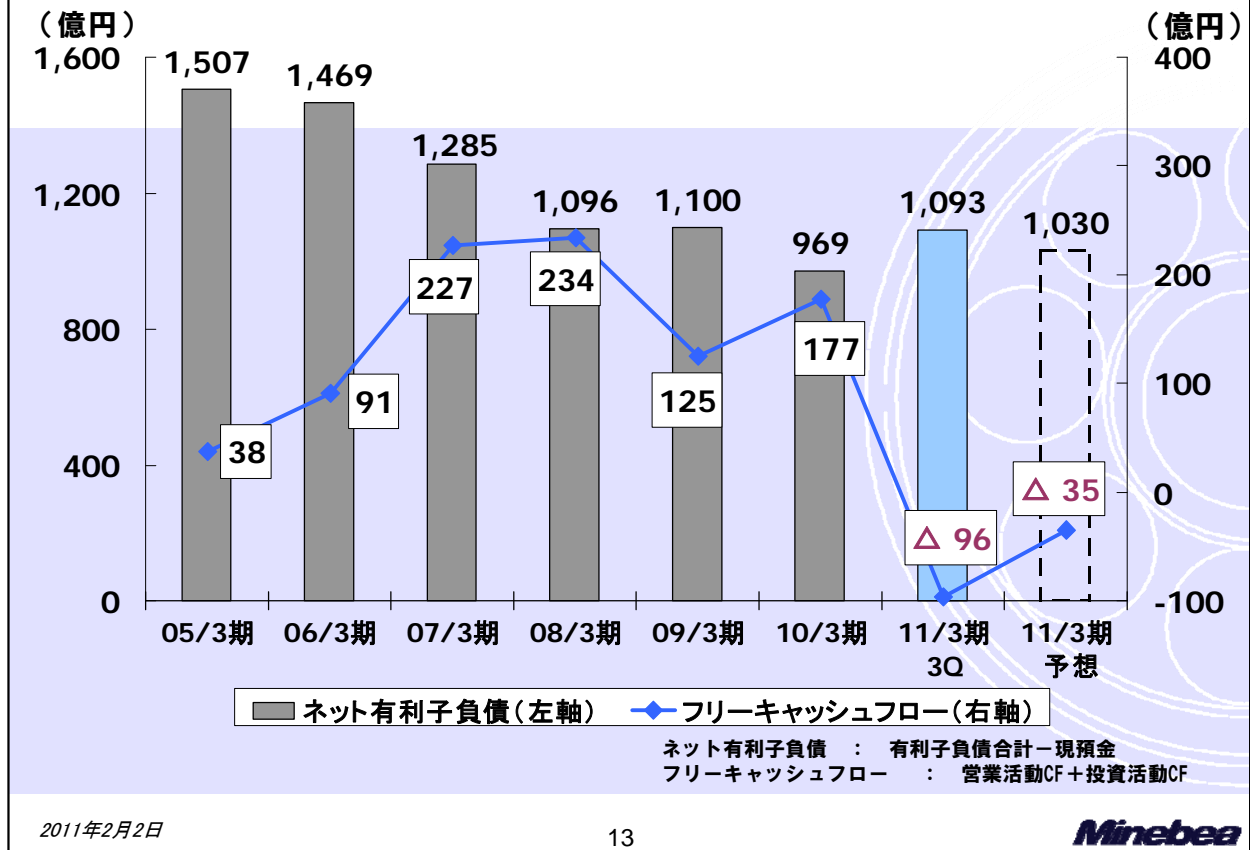
第3四半期累計の設備投資は227億円となりました。主な投資先として、ピボットアッセンブリーなどの増産投資のほか、タイにおけるモーター生産ラインの再編を行っています。

今後も、ボールベアリング新工場、LEDバックライト新工場、モーターのカンボジア新工場などを計画しているため、来期も高い水準の設備投資が続く見込みです。ピボットアッセンブリー新工場は、HDD市場の先行きがまだ不透明なため、着工時期を再検討中です。

減価償却費は156億円でした。設備投資は増加しているものの、一方で過去の投資に関わる償却が終了してくる部分があり、減価償却費はしばらく現行水準で推移するものと見ています。

ネット有利子負債

年推移



2011年2月2日

13

Minebea

このグラフは有利子負債総額から現預金を差し引いたネット有利子負債の推移です。

第3四半期末におけるネット有利子負債は、1,093億円となり、前期末比124億円の増加となりました。売上の拡大に伴う運転資金の増加や設備投資の増加によるものです。

今後ともキャッシュフロー創出に注力していきますが、今期は増産投資を中心に設備投資が増加する見込みですので、フリーキャッシュフローは35億円のマイナスとなる見込みです。

業績予想

2010年11月2日修正の業績予想に変更はありません

(百万円)	2010年3月期		2011年3月期	
	通期	通期 予想	前期比	
売上高	228,446	274,000	+19.9%	
営業利益	12,059	25,000	2.1倍	
経常利益	10,203	23,100	2.3倍	
税引前利益	9,261	21,000	2.3倍	
純利益	6,662	13,500	2.0倍	
一株当たり 純利益 (円)	17.20	35.32	2.1倍	

為替レート	10/3期 通期	11/3期 通期想定
US\$	93.04円	85.85円
ユーロ	131.10円	113.34円
タイバーツ	2.74円	2.75円
人民元	13.61円	12.73円

※11/3期通期想定
為替レートは、
1～3Q実績レートと
4Q計画レートの平均

2011年2月2日

14

Minebea

今期につきましては市場動向に加えて、まだ為替の動向や原材料価格など不透明な部分もあり、11月に修正しました今期業績予想は現段階では変更しません。

第3四半期実績が計画を下回ったことから、第4四半期のハードルが高くなりましたが、来期以降の成長も見据えて、今期目標の達成に向け努力したいと考えています。

トピックス:LEDバックライト新工場

Minebea Electronic Devices (Suzhou) Ltd. (中国江蘇省蘇州市)

特徴：成型～組立までの一貫生産工場

2011年2月 外塗装完了

3月 内装工事完了、パイロット生産開始予定



現地にて管理職クラスを採用し、上海工場にてトレーニング中
旧正月明け2月より、生産人員を採用開始

2011年2月2日

15

Minebea

スマートフォンに代表される中小型LEDバックライト市場の拡大に対応するため、中国蘇州市で新工場の稼働準備を進めています。

写真は先月のものですが、3月のパイロット生産開始に向け、内外装工事や現地従業員の採用、トレーニングを進めています。

この新工場が稼働することにより、現在ミネベア全体で月2,000万個の生産能力を、来期には月3,000万個に拡大させる計画です。

トピックス:カンボジア新工場

Minebea (Cambodia) Co., Ltd.

カンボジア プノンペン経済特区にて仮工場建設中

特徴：隣国タイにある当社工場から部品供給を受け、
中小型モーターを組立生産

2011年 4月 仮工場（建設中：写真）生産開始予定

12月 自社工場完成予定



現地従業員採用活動中

採用後はタイ、マレーシアにてトレーニング予定

2011年2月2日

16

Minebea

先に発表致していますカンボジア工場ですが、生産開始に向け着々と準備を進めています。

現地では採用活動がスタートしており、既に採用された第1陣はタイでトレーニングを行っているところです。

仮工場の建設も進んでおり、4月の生産開始に向けた工事は順調です。仮工場で生産を開始した後は、徐々に増員と増産を行い、年内にはまた新しく建設する自社工場で生産を開始する予定です。

労働集約型モーターの生産拠点として、今後も拡大を図っていきます。

ミネベア株式会社

決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。